

# 会 議 録

## 第9回定例会

開会 平成29年8月29日

## 教育委員会会議録

- 1 開 会 平成29年8月29日 午後2時
- 2 閉 会 平成29年8月29日 午後3時30分

### 3 教育委員会出席者

教育長	美馬 持仁
委員	松重 和美
委員	三牧 千鶴子
委員	辻 貴博
委員	藤本 宗子
委員	小林 信行

### 4 教育長及び委員以外の出席者

教 育 次 長	森本 俊明
教 育 次 長	栗洲 敬司
教 育 創 生 課 長	長町 哲治
教 職 員 課 長	儀宝 修
学 校 教 育 課 長	後藤 浩代
特 別 支 援 教 育 課 長	榊 浩一
教 育 政 策 課 長	小西 哲也
教 育 政 策 課 副 課 長	倉橋 伸寿

[開 会]

教育長 定例会を開会する旨を告げる。

[議 事]

教育長 追加案件が1件あることを告げ、議事に入ることを告げる。

《報告事項 徳島自動車道でのバス事故について》

教育長 報告を求める。

教育政策課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

辻委員：高速道路で事故が起こった時、ガードレールの外に出ること。事故後の対応も重要だが、今回は専門学校の主催であったが、各学校のバスが点検されているのかどうかということが大事なのではないか。

教育長：学校でも部活でP T Aや学校がバスを持っているので、安全点検を厳しく義務づけており点検できているが、今一度運行前の点検をしっかりとしておくことは大事である。

藤本委員：バスで故障があった場合、バス会社同士の連携も必要でないか

小林委員：警察と一緒にマニュアルを作るのが一番良い。

教育長：マニュアルを作るにあたって、しっかりと警察と一緒にやる。場合によっては、学校関係者だけでなくマニュアルを広く広げるという努力もいるのではないか、また周知については警察と連携をとりながら。

松重委員：各学校のバスの使用状況等実態調査が必要

教育政策課長：バスの利用頻度はかなり高い。

松重委員：部活で顧問の先生がバスを工面したりしていることもあるが、安全性ということであればきちんとしておかなければいけない。

教育長：許可をした段階で、警察が実施する研修会・講習会の受講、点検を義務づけている。もう一度徹底していく。バスの保有情報等は把握しているので、もう一度それぞれが点検していく。ただバスだけでなく、生徒を同乗する場合があるので、知識を持っておく必要がある。

[会議録の承認]

教育長 配付されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 会議録を承認する旨を告げる。

[議 事]

教育長 議案第24号、議案第25号、議案第26号、議案第27号、協議事項1、報告事項2を非公開として差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 そのように取り計らうこととする。

《報告事項1 第3回徳島県教育振興審議会について》

教育長 報告を求める。

教育創生課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

辻委員：第4章、重点項目Ⅲ「グローバル社会で活躍！徳島から世界への扉をひらく教育の推進」において、阿波踊りを練習するという取組を検討されてはどうか。また、重点項目Ⅱの施策の方向性「新たな成長産業を生み出す教育の推進」で取り上げている6次産業化教育において、地元の食材を積極的に活用するということを検討してもらいたい。

教育創生課長：6次産業化教育については、現在、そのような方向性をもって、県央部、県西部、県南部それぞれにおいて、農業、工業、商業の各専門高校が連携をして、地元の食材等を活用しつつ6次産業化を進めているところである。阿波踊りについても、頂戴した御意見を参考にしたいと考えている。

教育長：文化に関する教育では、阿波踊りに限らず、地元につながる祭りや伝統行事の担い手を育成するという意識をもって教育に取り組む必要がある。また、地元食材の活用、つまり地産地消については、消費者教育、エシカル消費、食育等の観点からも取り組んでいく必要がある。

小林委員：教育委員会が教育振興計画を策定し、様々な事業に取り組んでいることを県民の皆さんは、あまり知らないのではないか。広報の手段を検討してもらいたい。

教育長：教育振興計画については、教育振興審議会を設置し、有識者の皆様から様々な御意見をいただきながら策定している段階である。この後、県民の皆様にも御意見を伺う機会を設ける予定である。

《報告事項 3 平成 29 年 3 月 県内高等学校卒業生の進路状況について》

教育長 説明を求める。  
学校教育課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

小林委員：私立大学特に県内では徳島文理大の進学者が増えたのはなぜか。

学校教育課長：増えたというよりは、昨年の進学者が減っていた分が今年は戻ったと捉えている。全体的には、近畿地方への進学者が増加している状況である。

松重委員：現在、地方創生ということもあって、県内への進学・就職が言われているが、学校での指導はどうか。

学校教育課長：できるだけ県内にとということで指導しているが、最終的には、本人の意思を尊重している。

松重委員：やはり、県内に残ってもらうには魅力ある企業、魅力ある仕事が大事である。企業に頑張ってもらいたい。その上で、情報や資料の提供も大事になる。

教育長：県内に残ってもらう指導は続け、さらに県外の大学に行った学生には県内に帰ってきてもらうために、そのための情報・資料を提供していく。県を出て、世界に羽ばたいて活躍していく人には、活躍をしながら徳島の事を考え貢献してもらう。これらのことを念頭に置き、指導を進めていく。

[非公開]

《議案第 25 号 徳島県教科用図書選定審議会委員の任免を教育長の職務代理により  
決定したことの承認について》

《議案第 26 号 平成 30 年度使用高等学校用教科用図書の採択について》

《議案第 27 号 平成 30 年度使用特別支援学校（小・中学部）用教科用図書の採択に

《議案第 24 号 徳島県立学校設置条例の一部を改正する条例について》

《報告事項 2 平成 30 年度徳島県公立学校教員採用候補者選考審査第 1 次審査に  
ついて》

[閉 会]

教育長 本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉 会 午後 3 時 30 分